

令和8年度 LMO彩が丘事業計画書

1 今年度の目標

・設立初年度のため、地域での認知度を高める。
・「まつり事業の存続」は地域の大きな課題であり、持続可能な運営を行う。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	彩が丘夏まつり事業	(4)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月1日	
(2) 実施場所	彩が丘中央公園グランド	
(3) 参加者数	500人(見込み)	
(4) 主催団体	彩が丘まつり実行委員会、LMO彩が丘	
4 取組内容	・ 地元団体によるステージ発表（ダンスや太鼓演奏など）や住民有志による盆踊り ・ 地元団体による物品や飲食物の販売 ・ 射的、輪投げ、ビンゴゲームなど子どもたちが喜ぶイベントの開催 ・ 老朽化した備品（提灯等）の更新	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 地域住民同士の交流が薄れている中、彩が丘に帰省した親子世代を含む全住民が気軽に参加して楽しめる夏まつりを今年度も開催し、住民同士の交流を促進する。 ・ 彩が丘の諸先輩方が作りあげた伝統ある祭りは、一度中断してしまうとノウハウが伝承されず再開が困難となるため、火を絶やさぬよう伝承していく。 ・ 本行事は、彩が丘における3大イベントのひとつで、毎年子ども達が楽しみにしており、地域への愛着心醸成が最大の狙いである。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 多世代が交流できるイベントであり、地域の賑わいづくりにつながる。 ・ 提灯や配線コードも老朽化しており、新しくすることでリニューアル感を出して、まつり自体を盛り上げることができる。	

令和8年度 LMO彩が丘事業計画書

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	彩が丘ふれあい祭り・公民館まつり事業	(4)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月1日	
(2) 実施場所	彩が丘公民館周辺 及び クスノキ広場周辺	
(3) 参加者数	700人(見込み)	
(4) 主催団体	彩が丘まつり実行委員会、LMO彩が丘	
4 取組内容	・ 地元団体によるステージ発表や子ども参加型のじゃんけん大会やラムネ早飲み競争など ・ 地元団体による物品や飲食物の販売 ・ 射的、輪投げなど子どもたちが喜ぶイベントの開催 ・ LMO彩が丘の活動紹介や社協活動内容紹介などの啓発ブースの設置	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 地域住民同士の交流が薄れている中、全住民が気軽に参加して楽しめるふれあい祭りを今年度も開催し、住民同士の交流を促進する。 ・ 彩が丘の諸先輩方が作りあげた伝統ある祭りは、一度中断してしまうとノウハウが伝承されず再開が困難となるため、火を絶やさぬよう伝承していく。 ・ 本行事は、彩が丘における3大イベントのひとつで、毎年子ども達が楽しみにしており、地域への愛着心醸成が最大の狙いである。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 多世代が交流できるイベントであり、地域の賑わいづくりにつながる。 ・ 地元企業の協賛や全住民対象の抽選会などにより地域が一体となる。 ・ 楽しい1日になることで、彩が丘に住んでいて良かったという地域への愛着心醸成につながる。	

令和 8 年度 LMO 彩が丘事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	彩が丘「とんど」事業	(4) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 9 年 1 月 1 0 日	
(2) 実施場所	彩が丘小学校グラウンド	
(3) 参加者数	4 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	彩が丘まつり実行委員会、LMO 彩が丘	
4 取組内容	・ 地域団体やボランティアによる竹の切り出し～ヤグラの設営 ・ 地域団体やボランティアによる餅つき ・ 地域団体によるぜんざいや焼き芋の無償配布 ・ 年男年女(主に小学 5 年生)によるヤグラ点火や有志による獅子舞	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・ 地域住民同士の交流が薄れている中、「とんど」を開催することによって、住民同士の交流を促進する。 ・ 地域団体やボランティアが協力しあってヤグラの設営や、餅つき、ぜんざいのふるまいなどによって運営側も一体となれるため、本事業を継続して開催していく。 ・ 本行事は、彩が丘における 3 大イベントのひとつであり、年始のイベントとして定着している。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 地域団体やボランティアが一体となってイベントを成功させることで、地域の一体感が生まれる。 ・ 竹の切り出しや餅つきは若い世代の力が必要なので、地域活動の後継者を育成する上で大変有意義である。 ・ 継続して開催することで、ヤグラの組み方やもち米の蒸し方、もちのつき方など様々なノウハウが継承されていく。	

令和 8 年度 LMO 彩が丘事業計画書

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	体験型イベント事業（星空教室）	(4) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月	
(2) 実施場所	彩が丘公民館 及び 彩が丘中央公園	
(3) 参加者数	30 人（見込み）	
(4) 主催団体	LMO 彩が丘（星空教室専門部会）	
4 取組内容	・ 望遠鏡で月や、木星、土星、金星などを実際に見てもらうイベントを開催する。 ・ 天体に興味を持ってもらえる話を子どもたちに行う。 ・ 町内で望遠鏡を所持している人に協力をお願いする。 ・ 分かり易い天文学の話をしてくれる人を町内で探す。 ・ 協力してくれた人に 5,000 円程度の謝礼と 500 円程度のお土産を配る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 実際に望遠鏡で月、木星、土星、金星などを見た子どもたちは少ない。星がきれいな彩が丘でこのような体験型イベントを企画・開催することで、子育て世代の親たちも楽しみながら行事に参加することができ、地域との交流も生まれる。このようなつながりが地域運営の後継者を自然と育成していくことになる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 子どもたちの記憶に残るイベントになる。もしかしたら、天文学者になりたいという夢を持つ子どもたちも現れるかもしれない。 ・ 親世代も一緒に参加したくなり、地域との交流も生まれる。 ・ 地域活動に対するポジティブな感情が生まれ、将来の後継者が育成される。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	該当なし		